

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公表番号】特表 2005-528099 (P2005-528099A)

【公表日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報 2005-037

【出願番号】特願 2004-508275 (P2004-508275)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 7/08

C 0 7 K 14/00

C 0 7 K 16/18

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 10 日 (2006.3.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モノクローナル抗体であって、(a) v_6 に特異的に結合し；かつ (b) 潜伏関連ペプチド (LAP) への v_6 の結合を、10D5 の IC50 値未満の IC50 値で阻害する、抗体。

【請求項 2】

前記抗体が、ハイブリドーマ 6 . 1 A 8 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 7) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 3】

前記抗体が、ハイブリドーマ 6 . 3 G 9 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 9) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 4】

前記抗体が、ハイブリドーマ 6 . 8 G 6 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 5) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 5】

前記抗体が、ハイブリドーマ 6 . 2 B 1 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 6) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 6】

前記抗体が、ハイブリドーマ 7 . 1 G 1 0 (A T C C 登録番号 P T A - 3 8 9 8) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 7】

前記抗体が、ハイブリドーマ 7 . 7 G 5 (A T C C 登録番号 P T A - 3 8 9 9) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 8】

前記抗体が、ハイブリドーマ 7 . 1 C 5 (A T C C 登録番号 P T A - 3 9 0 0) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 9】

前記抗体と ν_6 との間での結合が、二価カチオン依存性である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 10】

前記二価カチオンが、 Ca^{2+} 、 Mg^{2+} または Mn^{2+} である、請求項 9 に記載の抗体。

【請求項 11】

前記抗体と ν_6 との間での結合が、二価カチオン非依存性である、請求項 1 に記載の抗体。

【請求項 12】

抗 ν_6 抗体であって、重鎖の相補性決定領域 (C D R) 1、2 および 3 が、それぞれ、配列番号 1、4 および 7 の配列から本質的になり、そして軽鎖 C D R が、必要に応じて、それぞれ、配列番号 10、13 および 15 の配列から本質的になる、抗 ν_6 抗体。

【請求項 13】

抗 ν_6 抗体であって、重鎖の相補性決定領域 (C D R) 1、2 および 3 が、それぞれ、配列番号 3、5 および 8 の配列から本質的になり、そして軽鎖 C D R が、必要に応じて、それぞれ、配列番号 11、14 および 17 の配列から本質的になる、抗 ν_6 抗体。

【請求項 14】

抗 ν_6 抗体であって、重鎖の相補性決定領域 (C D R) 1、2 および 3 が、それぞれ、配列番号 3、6 および 9 の配列から本質的になり、そして軽鎖 C D R が、必要に応じて、それぞれ、配列番号 12、14 および 18 の配列から本質的になる、抗 ν_6 抗体。

。

【請求項 15】

抗_v₆抗体であって、重鎖の相補性決定領域(CDR)1、2および3が、それぞれ、配列番号2、46および47の配列から本質的になり、そして軽鎖CDRが、必要に応じて、それぞれ、配列番号48、13および16の配列から本質的になる、抗_v₆抗体。

【請求項 16】

抗_v₆抗体であって、重鎖の相補性決定領域(CDR)1、2および3が、それぞれ、配列番号49、51および53の配列から本質的になり、そして軽鎖CDRが、必要に応じて、それぞれ、配列番号55、57および59の配列から本質的になる、抗_v₆抗体。

【請求項 17】

抗_v₆抗体であって、重鎖の相補性決定領域(CDR)1、2および3が、それぞれ、配列番号50、52および54の配列から本質的になり、そして軽鎖CDRが、必要に応じて、それぞれ、配列番号56、58および60の配列から本質的になる、抗_v₆抗体。

【請求項 18】

抗_v₆抗体であって、配列番号19～36および61～62のいずれか1つの重鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 19】

抗_v₆抗体であって、配列番号19の重鎖可変ドメイン配列および配列番号37の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 20】

抗_v₆抗体であって、配列番号20または21の重鎖可変ドメイン配列および配列番号38の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 21】

抗_v₆抗体であって、配列番号22の重鎖可変ドメイン配列および配列番号43の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 22】

抗_v₆抗体であって、配列番号23の重鎖可変ドメイン配列および配列番号44の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 23】

抗_v₆抗体であって、配列番号24の重鎖可変ドメイン配列および配列番号45の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 24】

抗_v₆抗体であって、配列番号25または26の重鎖可変ドメイン配列および配列番号42の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 25】

抗_v₆抗体であって、配列番号27、28または29の重鎖可変ドメイン配列および配列番号39の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 26】

抗_v₆抗体であって、配列番号34または35の重鎖可変ドメイン配列および配列番号40の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 27】

抗_v₆抗体であって、配列番号36の重鎖可変ドメイン配列および配列番号41の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 28】

抗_v₆抗体であって、配列番号61の重鎖可変ドメイン配列および配列番号63の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 29】

抗 ν_6 抗体であって、配列番号 62 の重鎖可変ドメイン配列および配列番号 64 の軽鎖可変ドメイン配列を含む、抗体。

【請求項 30】

モノクローナル抗体であって、 ν_6 に特異的に結合するが、潜伏関連ペプチド (LAP) への ν_6 の結合を阻害しない、抗体。

【請求項 31】

前記抗体が、ハイブリドーマ 6.2A1 (ATCC 登録番号 PTA-3896) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、請求項 30 に記載の抗体。

【請求項 32】

前記抗体が、ハイブリドーマ 6.2E5 (ATCC 登録番号 PTA-3897) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、請求項 30 に記載の抗体。

【請求項 33】

哺乳動物において ν_6 によって媒介される疾患を予防または処置するための組成物であって、請求項 1 ~ 32 のいずれか 1 項に記載の抗体および薬学的に受容可能なキャリアを含む、組成物。

【請求項 34】

前記抗体が、細胞傷害性薬剤に結合されている、請求項 33 に記載の組成物。

【請求項 35】

前記抗体が、カチオン依存性抗体である、請求項 33 に記載の組成物。

【請求項 36】

ν_6 によって媒介される疾患を有するかまたは該疾患を有する危険性がある被験体を処置するための、請求項 33 に記載の組成物であって、該組成物は、該疾患を緩和するかまたは該疾患の発症を延期するように、該被験体に投与されるように処方されている、組成物。

【請求項 37】

前記被験体がヒトである、請求項 36 に記載の組成物。

【請求項 38】

前記疾患が、線維症である、請求項 36 に記載の組成物。

【請求項 39】

前記線維症が、強皮症、癭痕、肝臓線維症、腎臓線維症、または肺線維症である、請求項 38 に記載の組成物。

【請求項 40】

前記疾患が、乾癬である、請求項 36 に記載の組成物。

【請求項 41】

前記疾患が、癌である、請求項 36 に記載の組成物。

【請求項 42】

前記癌が、上皮癌である、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 43】

前記癌が、口腔癌、皮膚癌、頸部癌、卵巣癌、咽頭癌、喉頭癌、食道癌、肺癌、乳癌、腎臓癌、または結腸直腸癌である、請求項 41 に記載の組成物。

【請求項 44】

前記疾患が、アルポート症候群である、請求項 36 に記載の組成物。

【請求項 45】

哺乳動物由来の組織サンプル中の ν_6 を検出する方法であって、該組織サンプルを、請求項 1 または 30 に記載の抗体と接触させる工程を包含する、方法。

【請求項 46】

前記抗体が、6.2A1 (ATCC 登録番号 PTA-3896) および 6.2E5 (ATCC 登録番号 PTA-3897) からなる群より選択される、請求項 45 に記載の方法

。

【請求項 47】

ハイブリドーマ 6 . 1 A 8 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 7) の細胞。

【請求項 48】

ハイブリドーマ 6 . 2 B 1 0 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 8) の細胞。

【請求項 49】

ハイブリドーマ 6 . 3 G 9 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 9) の細胞。

【請求項 50】

ハイブリドーマ 6 . 8 G 6 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 5) の細胞。

【請求項 51】

ハイブリドーマ 6 . 2 B 1 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 6) の細胞。

【請求項 52】

ハイブリドーマ 6 . 2 A 1 (A T C C 登録番号 P T A - 3 8 9 6) の細胞

【請求項 53】

ハイブリドーマ 6 . 2 E 5 (A T C C 登録番号 P T A - 3 8 9 7) の細胞。

【請求項 54】

ハイブリドーマ 7 . 1 G 1 0 (A T C C 登録番号 P T A - 3 8 9 8) の細胞。

【請求項 55】

ハイブリドーマ 7 . 7 G 5 (A T C C 登録番号 P T A - 3 8 9 9) の細胞。

【請求項 56】

ハイブリドーマ 7 . 1 C 5 (A T C C 登録番号 P T A - 3 9 0 0) の細胞。

【請求項 57】

単離された核酸であって、配列番号 19 ~ 45 および 61 ~ 64 のいずれか 1 つについてのコード配列を含む、核酸。

【請求項 58】

単離されたポリペプチドであって、配列番号 19 ~ 45 および 61 ~ 64 のいずれか 1 つのアミノ酸配列を含む、ポリペプチド。

【請求項 59】

モノクローナル抗体であって、ハイブリドーマ 6 . 2 B 1 0 (A T C C 登録番号 P T A - 3 6 4 8) によって産生される抗体と同じ重鎖ポリペプチド配列および軽鎖ポリペプチド配列を含む、抗体。